



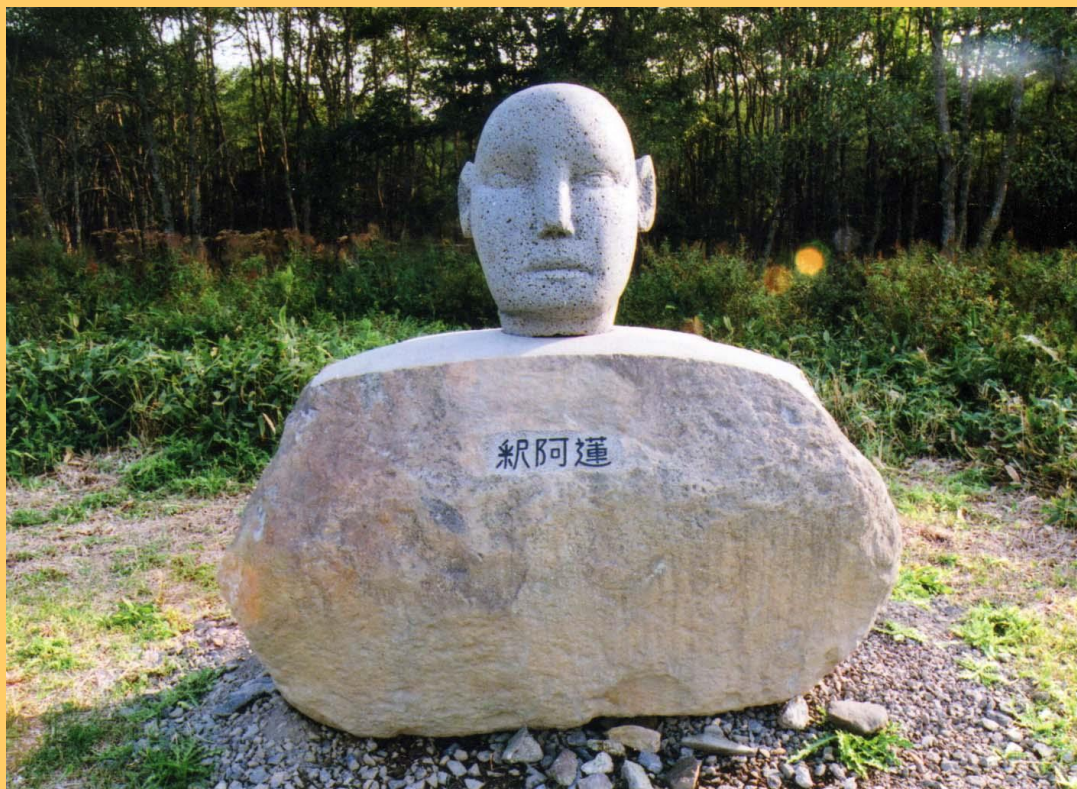
いずみ

No.51

街なかの美を守ろう

(題字 國松 明日香)

自作自選 21



《糸阿蓮》

二部 黎

(2 ページに「作者の言葉」)

自作自選 21 作者の言葉

アレン・ネルソン (Allen Nelson 1947~2009) は 19 歳でベトナム戦争に出兵、退役後、ストレス障害に苦しむ。「日本国憲法 9 条を世界の憲法に！」の運動を通じて立ち直り、後半生を不戦の活動に捧げる。各地を行脚し、矢臼別の常連になった。枯葉剤による多発性骨髄腫で死す。61 歳。アレンの遺志で遺骨は浄土真宗の寺に安置され、仏教徒「釈阿蓮」となった。広大な矢臼別の原野、不戦の径にあって、釈阿蓮は極北を見据えて訴え続ける。 (二部 黎)

タイトル：「釈阿蓮」

設置場所：別海町矢臼別平和公園
「不戦の径」

制作年：2014 年

素材：シレトコ産安山岩

サイズ：W1600×D900×H1650 mm

連載 宮の森の四季 21

本郷新記念札幌彫刻美術館

市民と作家の交流の場

業務係長 梅内 親治

今年で 6 回目となった「さっぽろ雪像彫刻展」は、当初は木枠作りや雪積み作業を一部の作家が何日もかかって準備し、そのあとに制作する作家・学生が集まり、制作していた。

現在の札幌雪像実行委員会の形式になってからは、制作する作家・学生や協力してくれる方々が準備から制作までを自らの力で手掛け、彫刻美術館の小さな庭を会場にして開催されるようになった。

「さっぽろ雪像彫刻展」がだんだん周知されるようになり、鑑賞に訪れる市民が多くなった。

作家は、公開期間中は交代で会場当番を行い、訪れた市民に雪像彫刻の解説だけでなく、それぞれの作家が本来制作している木・ブロンズ作品などについても気軽に説明し、市民と作家の交流の場になってきた。

今年は「さっぽろ雪像彫刻展」に参加した作家が、「第 15 回なよろ国際雪像彫刻大会ジャパンカップ」で第 1 位と芸術作家賞を受賞された。

今後も、多くの市民に親しまれてきた「さっぽろ雪像彫刻展」が長く続き、彫刻美術館の小さな庭を舞台に、市民と作家の交流の場となるよう願うばかりである。

この企画、実行にご尽力いただきました作家・学生の皆様にお礼を申し上げます。



遠友夜学校記念館建設の夢を描いて

秋山 孝二

(新渡戸稲造と札幌遠友夜学校

を考える会代表理事)

私どもの会は、新渡戸稲造博士生誕 150 年を記念して、2012(平成24)年 12 月に、札幌遠友夜学校跡地近くで行われた講演会を契機に設立されました。その趣旨は、新渡戸博士の国際性に裏付けられた高邁な思想と教養、1894(明治 27)年に、博士ご夫妻によって設立された「札幌遠友夜学校」の教育理念を、多くの方々とともに幅広く顕彰し、この跡地の放つメッセージを国内外に発信し、札幌市民として一条の光を灯す責務を感じたからです。

メッセージの主なものは、地域や国内外の子供や大人たちに、第1に無償のボランティア精神による実践、第2に国際平和の実現、第3に『BUSHIDO』に基づく国際人の育成とアントレプレナーシップの涵養です。このような活動の場・拠点として、私たちは「札幌遠友夜学校記念館」(仮称)を建設したいと考えています。

今現在検討されている記念館での事業概要は以下の通りです。(1)市民向け教養講座(ニトベ・イングリッシュ・スクール、『武士道』・『農業本論』・『修養』他の読書会、講演会)、(2)教育プログラム(不登校児童・生徒の学びの場、障がい者の会、女性の会、等)(3)町内会・地域のプログラム(4)国際交流事業(国際平和、国際社会のリーダー育成、諸外国教育機関との連携)(5)大学等のアウトリーチ活動、他です。

いずれ「記念館運営委員会(仮称)」を設け、構成メンバーは「考える会」役員・運営委員、東地区町内会役員、遠友再興塾、北海道大学の教職員及び学生、市民ボランティアのほか、幅広い人材の登用を図り、さらに活動プログラムを充実して参ります。

この跡地は札幌市により、2014(平成 26)年 12 月に「新渡戸稲造記念公園」として造成されました。市民を中心とした私どもの会は、その公園の北東部(現在は更地)に、2016(平成 28)年春の着工、記念館建設を目指しています。これには、諸内部設備及び機器類を含めおよそ1億7千万円の資金が必要と見込まれており、現在は幅広い市民・企業・団体からの寄付を募っています。

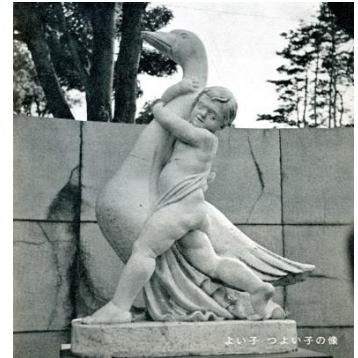
一方、この間、私たちは、この記念公園における園銘板、2つの格言板(メモリアルウォール)、この土地とブロンズ像に関する銘板の設置に際して、文章表現等について新渡戸稲造と札幌遠友夜学校に関する知見を活かして、市担当部署と意見交換・助言を続けてきました。多くの市民の方々に、2017年完成予定の記念館を思い描きながら、現地で公園内ブロンズ像横の遠友夜学校跡地銘板、2つの格言板をご覧頂けると幸いです。

芸術作品をいつまでも美しく、作家の意図を永遠に伝えるために

絶えない彫刻補修の努力を

友の会コンクリート彫刻実態調査結果から

彫刻美術館友の会は2014年度活動計画に掲げた札幌市内のコンクリート彫刻実態調査を昨年夏から秋にかけて行った。その結果を橋本信夫会長が「札幌市におけるコンクリート彫刻の調査と経年劣化の現状」と題して2月26日、北大学術交流会館で開かれた「NORTH シンポジウム2015」で発表した。講演の中から関係部分の要旨をまとめた。



山内壮夫くよいこつよいこ

戦後に急増したコンクリート彫刻

コンクリート彫刻は戦後、日本の経済発展によるセメント需要の高まりを背景に、1950年代初頭、大手セメント会社が新進彫刻家にセメントを提供、コンクリート彫刻制作を支援したことなどから1965年ごろまで急増した。

彫刻の素材としてのコンクリートはブロンズなどに比べてはるかに安く、また、作家自身が直接、砂や骨材などを吟味し、粘土原型制作から作品設置までを一貫して手掛けられることから、全国各地にコンクリート彫刻制作が広まったが、65年以後、激減した。

動物園前のくよいこつよいこが最古

友の会の今回の調査で札幌市内にあるコンクリート彫刻は36点あることが分かった。このうち、公園や広場など市街地に15

点、残り21点が小中学校の構内にあることが判明した。これら36点の設置年をみると別表の結果となり、最も古いのが1952年の円山動物園にある山内壮夫のくよいこつよいこ>の1点で、制作後61年を経過している。ついで、56年から10年間に作られた山内作品を含む10点が市街地に置かれ、いずれも制作後50年以上経過して激しい劣化を示している。また、76年から85年までの10年間では学校構内の作品数が激増している。つまり、50年から60年にかけてはパブリックアートとして市街地に、70年以降の10年間は学校構内にと2群に大別された。

劣化度を3段階で分類

実態調査では各作品について作品名、作者名、制作年、管理者のほか、本体と台座の計測はもとより汚れ、ヘヤークラック(0.3mm未満)、大きなクラック(0.3mm以上)、傾き、破損・爆裂、塗装の剥落、ポップアウト、スケーリング、鉄筋の腐食、さび汁の有無、苔の存在など11項目を重点的に調査して記録した。

これら調査記録をもとに各作品の経年劣化の程度をA 要緊急対策、B 要早期補修、

札幌市におけるコンクリート彫刻の年次別設置状況

設置年	設置後経過年数	市街地	学校構内	作品数
<1955	>61	1	0	1
1956-1965	51-60	9	1	10
1966-1975	41-50	1	4	5
1976-1985	31-40	2	14	16
1986-1995	21-30	0	1	1
1996<	<20	2	0	2
不明	不明	0	1	1
合計		15	21	36

C 当面補修不要の3段階に分類した。この結果、市街地群のコンクリート彫刻では制作後50年以上の古い作品が多く、A、Bランクのものが15点中12点にも達した。一方、学校構内群では設置後30年未満ながら13点中、9点がA、Bランクと激しい劣化を示していた。また、作品を公園の石碑などのような立像と校舎の外壁などに飾られるレリーフに区別すると市街地でのレリーフは15点中2点だったのに対し学校構内では21点中7点がレリーフで、うち、5点は劣化の程度がA、Bランクに属していた。

＜よいこつよいこ＞緊急処置避けられず

先にふれた市内で最も早く設置されたコンクリート彫刻「よいこつよいこ」（山内壯夫作）の視認調査では設置後長年たち幾度となく白色塗料で表面処理されていたようだが、長く放置されていたため塗料が表面



塗装がはげ落ちたくよいこつよいこ＞

のあちこちでモルタルと共に剥落していたほか、多数のクラックやポップアップばかりでなく、鉄さびや骨材の露出さえ見られた。また、コンクリート表面の広範な損傷に加え、作品の一部が破損、欠落して内部の鉄筋が露出するなど内部構造の著しい劣化が観察された。これらによってこの作品は緊急保全処置が不可避と判断、Aランクと判定した。

絶えない保全策必要

友の会が行ったこれらの調査から北海道の厳しい冬の環境下に長くさらされた野外のコンクリート彫刻は制作・設置後、30年足らずで劣化し、そのまま放置すれば半世紀を待たずに悲惨な運命とたどることになり、絶えず清掃や表面の微細な変化のチェックを心がけ、補修に配慮する必要がある。また、補修の場合でもこれまでのように安易に白色塗料を塗るだけでは塗料自身が数年を待たず劣化してコンクリート表層のモルタルを付けたまま剥落するので注意を要する。塗装後は数年毎に劣化塗料を除去し、再塗装などで保存性の維持に心がけるべきである。本来、コンクリート彫刻はパブリックアートとして屋外に展示される芸術品なので、出来るだけ原型を保つよう心がけ、作家の意図を伝える努力が重要である。近年のコンクリート工学の進歩やコンクリートの補修・保存技術の進展に伴って既存の“高齢彫刻の延命措置”が今後の大きな課題として浮上しつつある。

友の会によるポリマー塗料補修が有効

これまで友の会が札幌・中島公園の山内壯夫作の4体のコンクリート像を対象に、透明で紫外線に強く、コンクリート浸透性を持つポリマー塗料による補修を試行し、この処理が原型の色調を損ねることなく5年間以上にわたって汚れや雨水を防ぎ、保存効果を上げていることを確認していることを強く訴えておきたい。

2015年度

札幌彫刻美術館友の会総会

2015年5月17日(日)13:00

札幌市民ホール第1会議室

花を添えたハーモニカ演奏

2015 年友の会新年会開く

アクティブな活動を誓う

友の会の 2015 年新年会が 2 月 22 日、札幌の宮の森ミュージアム・ガーデンで催された。今年は例年よりほぼひと月遅れの開催となったが、38 人の参加者が新しい年の活動を誓い合った。



会場になった宮の森ミュージアムは通常、ギャラリーを備えた結婚式場として知られているだけにホテルと違い、室内はホワイトで落ち着いたなかにも華やいだ雰囲気。開会のあいさつで橋本会長は「今年もアクティブな活動で市民芸術を盛り上げよう」と呼びかけた。

ついで、昨年一年間の会の活動ぶりがスクリーンで映し出され、細川房子さんが映像の解説を行った。友の会顧問の國松明日香さん＝写真上＝が 3 年前、友の会が主催した市民の愛蔵彫刻展の続編を期待して乾杯のグラスを挙げた。

新入会員の紹介とテールスピーチ、ビンゴゲームなどで盛り上がったあと、会員でもあり、札幌ハーモニカ倶楽部音楽監督の関堂安司さんが山口玲子さんのピアノ伴奏



でハーモニカを演奏。「新年に贈るハーモニカの調べ」と題して、「春の海」（宮城道雄）、「精霊の踊り」（グルック）などを曲目の解説、ハーモニカの使い分けを説明しながら美しいメロディーで会場を魅了した。最後に全員で「花は咲く」を合唱して新年会の幕を閉めた。

ゆきあかり in 中島公園

山鼻小児童らと共演

最終日は天候悪化で中止

厳冬の中島公園に光の花を咲かせる「ゆきあかり in 中島公園」が今年も 2 月 6 日から 8 日まで開かれ、友の会も期間中、雪の壁に紙コップのランタンを並べる催しに参加した。

今年は山鼻小 3 年生の児童 80 人が参加、事前に友の会や公園管理事務所のメンバーが作り上げた雪壁に紙コップのランタンを置く雪穴作り



に挑戦、1 時間ほどで約 200 個のスペースを作り、それぞれに思い思いの願い事や絵を描いて雪の壁を飾った。

さっぽろ雪まつり期間中でもあり、6、7 日も外国人観光客が例年以上に目立ち、カップ数も増えて冬の夜を盛り上げた。最終日の 8 日はあいにくの吹雪となり、催しは中止された。（長峯慰子）

柳川慶子さんが本郷新のエピソードなど語る

第1回本郷新記念札幌彫刻賞受賞作品除幕記念講演会



彫刻家本郷新の二男・淳さん(故人)の妻で女優でもある柳川慶子さんが2月5日、同彫刻美術館で行われた受賞作品除幕式で樋泉綾子学芸員とインタビュー形式の講演を行い、現在、立命館大学(京都)にある「わだつみ像」や石狩の「無辜の民」などにまつわるエピソードや日ごろの制作、家庭での様子など本郷新の人柄や平和への思いをスライドを使いながら語った。
(奥井登代)

追悼 水谷のぼるさん

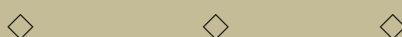
鈴木 吾郎(彫刻家)

水谷のぼるさんは命の火を消した。35年以上もの付き合いを思うと彼の死は本当に残念な事だが、いかにも彼らしい逝き方をしたと思う。12月20日に最後の見舞いに行ってきた。緩和ケア病棟で穏やかな表情で迎えてくれ、半分ウトウトしながら「完全無宗教・家族葬でやるからゴメンね！」と言う。その後毎日どうなったか気になりながら過ごしていたが、1月6日に本人の名前でお別れのハガキが来た。早くから書いていたらしく最後には「…なお、香料、供花等一切ご遠慮願います。又遺作展やお別れ会等も無用に願います。では、お先に失礼。ばいばい。水谷のぼる」と結ばれていた。一番下に小さな活字で(2014年12月29日未明永眠 満71歳)と記され、奥様のペン書きで「多くの方々のおかげで、完全燃焼出来たことを、その穏やかな表情から感じました」と言う一筆があった。

父親譲りの研究熱心な性格で、石膏取りからFRP製作、更にはイタリアにまで出掛けてブロンズ鑄造の技術を身につけてきた。後年アトリエで若い作家達に伝え、彼を慕う人達にも教えていた。誰とでも明るい笑顔で付き合い宮沢賢治のような無私の人間だった。私も何かあると彼とお喋りしたり一杯やったりしてきた。そんな中にも戦争や原発に対する激しい怒りがあり、それだけは飲んで酔っ払った時にも緩める事は無かった。彼の思想の根本は「弱い者」への共感であり、そして「不条理を憎む」という信念が最後まで脈打っていた。

何と言っても彼の集大成は「嘔吐する犬」と「戦争さなぎ」で、彼の思想を余すことなく表現している。そのようなテーマは、ともすると教条的な表現になるモノだが、彼はしっかりした彫刻言語で見事に表現している。誠に真実の彫刻家であったと思う。

エピソードだが、一昨年8月に肺の末期癌を知り余命4ヶ月とのこと、見舞いに行くともまるで何事も無かったように明るく笑いながら出迎えてくれた。「……イヤ～癌で死ぬのも悪くないなと思ってさ……」と言いながらアッハッハと笑顔で告げられた。一年半の間に何度も会ってきたが一度も泣き言を吐かなかった。計画的にアトリエの整理を始め作品の行く末を探し、必要なお別れをしていった。彼は今はもういない。しかし何時までも我々の心の中に生き続けている。
<2015.2.10>



水谷のぼるさんは1943年生まれ。会報「いずみ」41号(2012年10月発行)に「戦争の蛹」掲載。

事務局日誌

▼1月8日＝定例役員会(エルプラザ)新年会準備、northシンポテーマ、会報51号企画など▼15日＝彫刻学習会(エルプラザ)作家プロフィール作成▼2月6日＝「ゆきあかりin中島公園」参加▼12日＝定例役員会(エルプラザ)新年会準備、会報51号企画▼19日＝彫刻学習会(エルプラザ)▼22日＝2015年友の会新年会(宮の森ミュージアム・ガーデン)▼25日＝会報31-50号合本制作講座(エルプラザ)▼26日＝NORTH2015シンポジウム(北大交流会館)橋本会長がコンクリート彫刻実態調査結果などについて発表▼3月12日＝定例役員会(エルプラザ)▼15日＝北海道学術学会(道立近代美術館)デジタル彫刻美術館構想について橋本会長が講演

編集後記

▼友の会が昨年取り組んだ「コンクリート彫刻実態調査」の結果をNORTHシンポで行った会長の講演原稿から要旨を抜粋した。スペースの関係から全道の野外彫刻分布の部分は割愛せざるを得なかった▼4月はフレッシュな季節。会報のデザインも多少、お色直しと思ったが力及ばずとなった。(大内)

札幌彫刻美術館友の会

会報「いずみ」 No.50

2015年4月1日発行

発行人 橋本 信夫
編集者 大内 和
(札幌市清田区清田5-4-6-30
011-884-6025)

印刷 山藤三陽印刷

会報「いずみ」51号 目次

自作自選21《釈阿蓮》	二部 黎	表紙
作者の言葉		2
宮の森の四季21「市民と作家の交流の場」	梅内 親治	2
風見鶏「記念館建設の夢を描いて」	秋山 孝二	3
レポート「コンクリート彫刻実態調査結果から」		4-5
友の会ニュース		6-7
2015年新年会 ゆきあかり in 中島公園 柳川慶子さん講演 追悼水谷のぼるさん(鈴木吾郎)		
事務局日誌、目次、美術館行事予定ほか		8

本郷新記念札幌彫刻美術館行事予定

本館

■コレクション展「彫刻のできるまで一本郷新の頭の中」

開催中～4月19日(日)

本郷新の彫刻作品とそれに関連するデッサンやエスキースを比較しながら、完制作に至るまでの彫刻家の思考を探る試み。

■同時開催

「In My Room」2012年からスタートした若手作家の作品紹介。
佐々木仁美 開催中～4月19日(日)

■彫刻の美 本郷新に学ぶ彫刻鑑賞

4月25日(土)～6月28日(日)

本郷新が残した彫刻論集「彫刻の美」を紐解き、「量」「動勢」「調和」「材質」などの彫刻の要素に着目しながら、彫刻作品の見どころを紹介。

記念館

■本郷新のレリーフ

開催中 ～4月26日(日)

彫刻や絵画とは異なる本郷新が手掛けたレリーフ作品を紹介

■本郷新の描いた山々

4月28日(火)～10月18日(日)

北海道の山の風景を描いた本郷新の水彩画を紹介する。

本郷新記念札幌彫刻美術館

札幌市中央区宮の森4条12丁目 ☎011-642-5709

友の会ホームページ公開中です！ご覧ください

<http://sapporo-chokoku.jp>